

## 2. 関係団体の取組

### 【1】フォーラム等事業の開催

	団体名	実施(予定)期間・日	11月に実施する場合、○を選択	実施(予定)事項	具体的内容(テーマ・開催場所等)	備考
1	CAPNA	10月12日～16日		展覧会	絵画展:虐待防止・発達障害理解	
2		10月15日		講演会	講演会:虐待防止・発達障害理解	
3		10月22日23日		お祭り	祭り:啓発グッズ配布	
4		11月19日	○	研修会	シンポジウム:赤ちゃん縁組	
5	(特非)子育てひろば全国連絡協議会	通年		利用者支援事業従事者向け研修	利用者支援事業の従事者に困難事例への対応スキル等を学ぶ講座の機会を提供	
6		①9月22日 ②10月9日 ③10月29・30日 ④11月12日 ⑤1月28日	○	支援者向け研修	地域子育て支援拠点の従事者に対する研修に、虐待の予防型としての支援のあり方を学ぶ要素を盛り込む	
7	全国保育協議会	6月、8月、9月、10月、平成29年1月、2月	○	研修会での学習・研鑽	権利擁護、虐待の未然防止、早期発見・対応に関する内容について講義等学習機会の提供	
8	全国民生委員児童委員連合会	[東日本]8月1日(月)～8月2日(火) [西日本]8月30日(火)～31日(水)		全国主任児童委員研修会(東西2会場)	虐待の早期発見・早期対応のためには、虐待のサインを見逃さないよう、日ごろから子どもたちとかかわる機会を持つことが大切である。また、虐待予防の観点からも、地域における子育て世帯の孤立を防止する取り組みも大切であり、そうした取り組みにおいて民児協や主任児童委員の果たす役割は重要である。 本研修会は、そうした主任児童委員の力量向上をめざすものとして開催している。研修会第1日のシンポジウムにおいて「虐待への対応力を強化するために～地域における主任児童委員の役割～」を設定し、民児協関係者のほか、子育て支援団体や保育所関係者等をシンポジストとして迎え、民児協として地域における虐待対応にどのように取り組んでいくかについて考え、今後の取り組みに活かすとともに、そうした取り組みにおいて主任児童委員が果たすべき役割について考えた。	
9		10月20日・21日(予定)		全国民生委員児童委員大会	児童虐待やいじめ、子どもの貧困等をはじめとした子どもや子育て家庭をめぐる課題について、全国の民生委員・児童委員の理解を深める機会とする。 大会第2日において、「子どもたちが健やかに育つことができる地域づくりのために」をテーマとした分科会を設け、安心して子育てができ、子どもが健やかに育つことができる地域づくりに、民生委員・児童委員がどのように取り組むかについて考える。	
10		平成29年2月3日、4日		全国児童委員研究協議会	児童委員を対象にした全国研究協議会に児童虐待に関するプログラムを盛り込み研究協議する。	
11	全国乳児福祉協議会	7月27日～29日 10月25・26日 11月24・25日	○	全国乳児福祉協議会主催の研修会、全国大会、セミナー等の開催	子どもの権利擁護や虐待防止、被虐待児の養育、虐待した保護者へのアプローチや支援などについて学習機会を提供(7月:鳥取、10月、宮崎、11月:東京)	
12		9月20・21日 12月1・2日		社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	子どもの権利擁護や虐待の防止について、専門家の講義等による研修会を開催(9月大阪、12月東京)	
13		11月30日	○	子ども子育て全国フォーラム	児童虐待の防止も含め、子どもの貧困が生み出す社会的孤立や排除等の問題について関係者が一堂に会し、今後の活動や取組みに関する意見交換の場として開催(東京)	
14		平成29年2月9・10日		ファミリーソーシャルワーク研修会	被虐待児への対応、家族の再統合等について、専門家や現場実践者の講義等による研修会を開催(東京)	
15	全国情緒障害児短期治療施設協議会	7月29日		公開講座	愛着臨床と養育者支援(群馬県前橋市において)	

16	(公社)日本医師会	4月2日、9月17日、11月27日、平成29年2月4日	○	子育て支援フォーラム	子育て支援フォーラムの開催 「子育ての応援とゼロ歳児からの虐待防止を目指して」「未来を担う子ども達のために」をテーマに一般市民等を対象としたフォーラムを全国で開催 開催地:4/2宮城、9/17秋田、11/27鹿児島、2/4富山	公益財団法人SBI子ども希望財団と開催地の都道府県医師会と共催
17	(一社)日本子ども虐待防止学会	7月3日		シンポジウム	特別養子縁組に関するシンポジウム	
18		11月25日、26日	○	学術集会	第22回学術集会おおさか大会 テーマ「新たな支援の創造」	
19	(福)子どもの虐待防止センター	10月9日～12月18日	○	両親と子どもも参加をする講座	「パパとママの楽しい育児～0歳児のパパママの育児ミーティング」夫婦とお子さんが一緒に参加をし、0～1歳の時期だからこそその子育てが楽しくなる具体的な育児の方法を専門家が伝授します。グループでのミーティングも取り入れます。 日時: 2016年10月9日～12月18日各日曜、全6回(途中参加も可) 対象: 0歳～1歳の子どもとその親(夫婦、単身いずれも可) 会場: 砩区民会館(成城ホール)	後援:世田谷区
20		11月2日～4日	○	児童養護施設に現在勤務する心理職を対象としたワークショップ	「虐待を受けた子どもの心理療法に関するワークショップ 2016」当法人が主催する、児童養護施設や里親のもとで暮らす子どもの心理治療として新たな養育者とのアタッチメント(愛着)形成に資するよう「アタッチメント形成のための心理療法プログラム」について、児童養護施設で子どものセラピーを担当している心理職の方を対象に、理論と演習を取り入れた実践的研修を、当法人理事の西澤哲を中心に行います。 日程: 2016年11月2日(水)～4日(金) 対象: 児童養護施設に現在勤務する心理職 会場: 国立オリンピック記念青少年総合センター	
21		11月10日	○	特別養子縁組家庭の養親を対象としたサロン	第4回 特別養子縁組サロン「真実告知～先輩の体験談～」里親よりもさらに支援の少ない特別養子縁組家庭の養親の方を対象に年6回サロンを開催しています。第4回は特別養子縁組の先輩お母さんを講師に迎え、真実告知をテーマに体験談とミーティングを行います。 日時: 2016年11月10日(木)10:30～12:30 対象: 0～15歳までの特別養子縁組家庭の方 会場: 社会福祉法人 子どもの虐待防止センター	
22		11月17日	○	元気と知識が得られる連続講座2016	元気と知識が得られる連続講座2016第7回「ネットワークを作ろう③児童養護施設」子ども虐待を介入、支援するためには、ネットワークは不可欠です。また各の機関の役割を知る必要があることから、全10回の連続講座を行います。第3回は、救世軍世光寮副施設長で当法人評議員の塩田規子を講師に迎えて開催します。 日時: 2016年11月17日(木)19:00～21:00 対象: 看護師・保健師・MSW・地域関係機関職員などで家族の支援に関わる方 会場: 社会福祉法人 子どもの虐待防止センター	
23		11月19日	○	子育て講座の開催	第2回 子育て講座「子育てってたいへん!!みんなどうしているの?」子育てに悩んでいる母親向けの講座を開催します。講師からの講義と話し合いの時間を持ちます。 日時: 2016年11月19日(土)10:00～12:00 対象: 現在子育て中のおかあさん 会場: 社会福祉法人 子どもの虐待防止センター	
24	11月20日	○	日本子どもの虐待防止歯科研究会 第1回大会	日本子どもの虐待防止歯科研究会 第1回大会 歯科領域から虐待予防を専門に考えるために立ち上げられた同研究会の第一回大会が東京で開催されます。当日は、理事長の松田博雄が教育講演を行うほか、同大会の後援をしています。 日時: 2016年11月20日(日)12:30～16:30 会場: 日本歯科医師会館	主催:日本子どもの虐待防止歯科研究会、共催:東京都歯科医師会、当法人は後援	
25	全国社会福祉協議会	7月7日～8日		子どもの育ちを支える新たなプラットフォーム研修会	主催。東京都千代田区開催。虐待等の子どもを取り巻く背景・課題意識を児童福祉関係者全体で醸成・共有。	
26		9月20日～21日 12月1日～2日		社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	主催。大阪府大阪市/東京都千代田区開催。児童虐待防止のための家族への支援や子どもの権利擁護に関する講義・実践発表。	
27		11月16日～17日	○	福祉ビジョン21世紀セミナー	主催。東京都千代田区開催。ともに生きる豊かな福祉社会をめざす実践発表から活動内容と意識共有。	

28	全国社会福祉協議会	11月30日	○	子ども・子育てフォーラム2016	主催。東京都千代田区開催。子どもの貧困、児童虐待や家庭支援などの社会的課題に対する認識と理解の促進、希望的な社会の実現に資するアクションの共有・協議。
29		平成29年2月9日～10日		ファミリーソーシャルワーク研修会	主催。東京都千代田区開催。被虐待児への対応、家族関係の再構築などをテーマにした、家庭支援専門相談員や里親支援専門相談員、母子支援員等が参加。
30	全国自立援助ホーム協議会	10月20日～21日		全国大会	生き辛さを抱えた若者たちへの支援～自立援助ホームが向かうべき未来～
31	全国児童養護施設協議会	11月15～17日	○	全国児童養護施設長研究協議会	児童虐待防止に向けた家族への支援や子どもの権利擁護等について、専門家の講義や実践事例の発表等による研究会を開催(東京)
32		平成29年1月17～19日		中堅職員研修会	被虐待児の心理や支援技術等について、専門家の講義等による研修会を開催(東京)
33		9月20、21日 12月1、2日		社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	子どもの権利擁護や虐待の防止について、専門家の講義等による研修会を開催(9月大阪、12月東京)
34		平成29年2月9日～10日		ファミリーソーシャルワーク研修会	被虐待児への対応、家族の再統合等について、専門家や現場実践者の講義等による研修会を開催(東京)
35		11月30日	○	子ども・子育て全国フォーラム	児童虐待の防止も含め、子どもの貧困が生み出す社会的孤立や排除等の問題について関係者が一堂に会し、今後の活動や取組みに関する意見交換の場として開催(東京)
36		7月7～8日		子どもの育ちを支える新たなプラットフォームづくり研修会	身近な地域に子どもの育ちを支えるプラットフォームを形成し、児童虐待や子どもの貧困など、制度の狭間で支援の行き届かない諸問題を解決する方法等を学ぶための研修会を開催(東京)
37	全国母子生活支援施設協議会	6月29日～7月1日		全国母子生活支援施設職員研修会	「私たちがめざす母子生活支援施設(ビジョン)」で定めた母子の権利擁護の実践(権利侵害から守る、主体的な市民としての権利を尊重する等)を確認し、虐待や社会的排除の支援例、ソーシャルワークを学ぶプログラム。
38		7月7日～8日		子どもの育ちを支える新たなプラットフォーム研修会	主催。東京都千代田区開催。虐待等の子どもを取り巻く背景・課題意識を児童福祉関係者全体で醸成・共有。
39		9月20日～21日 12月1日～2日		社会的養護を担う児童福祉施設長研修会	主催。大阪府大阪市／東京都千代田区開催。児童虐待防止のための家族への支援や子どもの権利擁護に関する講義・実践発表。
40		10月19日～20日		全国母子生活支援施設研究大会	母子の権利擁護の実践を定めた「私たちがめざす母子生活支援施設(ビジョン)」を具現化する取り組み事例を共有。児童虐待等の心理的外傷やDV被害に専門的支援をもってあたる決意を、参加者一同のアピール文で採択予定。
41		11月30日	○	子ども・子育てフォーラム2016	共催。東京都千代田区開催。子どもの貧困、児童虐待や家庭支援などの社会的課題に対する認識と理解の促進、希望的な社会の実現に資するアクションの共有・協議。
42		平成29年2月9日～10日		ファミリーソーシャルワーク研修会	主催。東京都千代田区開催。被虐待児への対応、家族関係の再構築などをテーマにした、家庭支援専門相談員や里親支援専門相談員、母子支援員等が参加。
43	子どもの虹情報研修センター	平成29年1月17日		公開講座の開催	「子ども虐待と脳科学」をテーマに福井大学子どものこころの発達研究センター教授・副センター長の友田明美先生を招いての公開講座。(子どもの虹情報研修センター大研修室)
44	(公社)日本看護協会	9月15日、16日		日本看護学会精神看護	<p>■開催地: 青森県青森市</p> <p>■内容</p> <p>小児から高齢者における精神保健および精神疾患看護に関連する研究</p> <p>○基調講演「患者-看護関係を変えるストレングスモデル」</p> <p>子どもの虐待相談や早期発見・ケアに関わる看護職として、家族状況のアセスメントや援助方針の決定、支援を行う際に役立つ情報を得る。</p> <p>○シンポジウム「“精神看護の質”を問う」</p> <p>看護職としての関わりや事例検討を通して、精神看護の質について考え、子どもの安全・安心を守るためのよりよい支援につなげる。</p>

45		11月17日、18日	○	日本看護学会 ヘルスプロモーション	<p>■開催地:三重県津市</p> <p>■内容 小児から高齢者、母性における健康維持増進や疾病予防、ヘルスケア・システムに関する看護研究</p> <p>○交流集会 I「NICUを退院する児とその家族の支援」 NICU退院後の母子・家族関係への影響を視野に入れつつ、子どもの虐待予防を視野に入れた妊娠期から子育て期における支援の取り組みを含め、地域包括ケアとその支援のあり方について共に考える。</p> <p>○特別講演「新たな創造、ひと・健康・社会をつなぐこれからのヘルスプロモーション」 関係性の再構築を社会全体で作りあげていくヘルスプロモーションを目指し、地域全体で虐待予防の観点につながるような取り組みのあり方等についても考え、看護実践に活かす。</p>	
46		11月3日	○	NICU/GCUから退院する児とその家族への支援を考えるシンポジウム	<p>■開催地:秋葉原コンベンションホール(東京都千代田区)</p> <p>■目的 小児医療提供体制の在り方と、NICU/GCUから退院する児や家族への支援について、現状や課題、好事例の取り組み等について情報共有を行い、課題解決に向けた支援策や小児在宅医療における多職種連携・協働について意見交換を行う。</p> <p>【対象】総合・地域周産期医療センターや訪問看護ステーション等で小児在宅療養支援に取り組む医療職者や関係者、都道府県・市町村行政の担当者等</p> <p>■内容 ○講演「小児在宅移行支援の実際」 ○シンポジウム「鹿児島市におけるNICU/GCUから退院する児とその家族の支援に関する取り組み」他 それらを通して、子ども虐待予防の観点からも地域包括ケアと多職種間連携のあり方について共に考える。</p>	
47	(公社)日本看護協会	10月～ 平成29年1月	○	妊娠、出産、子育て期における切れ目ない支援に向けた、地域包括ケア推進のためのモデル事業の実施	<p>【実施か所】全国6か所の都道府県看護協会</p> <p>【内容】各都道府県看護協会にて選定したモデル事業実施地域(市町村・保健所・地区支部等)で、次の1)、2)を実施。</p> <p>1)地域の実情に合わせて看護職が率先して多職種協働を図り、子どもと子育て世代を対象にした地域包括ケア推進のための連携会議を実施。</p> <p>2)事例検討会やワークショップ等を自由に組み合わせた地域の実情に応じた企画・実施・評価を実施。</p> <p>上記1)、2)の実施では、ハイリスク妊産婦や育てにくさを感じる親、医療的ケアを要する児・家族など、すべての子ども・子育て世代を包含する早期支援体制整備をも目指している。</p> <p>これらの実施を基に、子ども・子育て世代を対象にした地域包括ケア実現モデルを構築し、広く普及・発信する。</p>	
48		10月～ 平成29年1月	○	新任期及び指導保健師(フリセプター)を対象とした保健指導ミーティングの開催支援	<p>■開催地:全国21か所の都道府県看護協会</p> <p>■対象:新任期保健師、指導保健師(フリセプター)</p> <p>■目的:保健師の保健指導のスキルアップとネットワーク強化</p> <p>■内容:実践力アップ事例検討会(日本看護協会が開発)の手法等を取り入れ、自らの実践について事例検討を行う。テーマの一つに母子保健(児童虐待予防を含む)を設けている。保健師の実践事例発表やグループ討議等により、強化すべきスキルに気づき、実践力アップにつなげている。</p>	(都道府県看護協会保健師職能委員会が連携して開催)
49		6月～平成29年2月	○	中堅期保健師コンサルテーションプログラム(研修)	<p>■開催地:全国10か所の都道府県看護協会等</p> <p>■対象:自治体の中堅期保健師</p> <p>■内容:中堅期保健師コンサルテーションプログラム(日本看護協会が開発)では、自身が取り組む活動テーマの一つに母子保健(児童虐待予防を含む)を取り入れている。6ヶ月間(集合研修4回と自組織での実践)、地域課題から施策化までの流れをPDCAサイクルを展開させながら実践し、虐待予防のための仕組みづくり等の成果につなげている。</p>	都道府県看護協会と都道府県との共催等で実施
50		随時		実践力アップ事例検討会の開催支援	<p>■開催地:自治体等(都道府県、市町村)</p> <p>■内容:保健師が担当するケースについて、保健師等で事例検討(児童虐待予防の視点が必要な事例を含む)を行い、参加者相互の問題解決能力の醸成やよりよい支援等につなげている。必要に応じ、本会作成の媒体を配付したり、ファシリテートのあり方やアセスメントで大切となる視点についての講話等を実施している。</p>	
51	(特非)児童虐待防止全国ネットワーク	11月13日	○	鎮魂集会および行進	<p>第14回子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会 ～あなたの気づきが命をつなぐ～ 虐待死の読み上げ、講演「子ども虐待の背景を探る～深刻化する貧困の現状と子どもの育ち～」、鎮魂の行進 会場:ニッショーホール</p>	主催
52		6月19日		フォーラム	<p>第4回オレンジリボンフォーラム「親と子を楽しもう！」 子育てトークショー、親子ライブ、支援企業・団体によるブース設置他 会場:昭和女子大学(世田谷区)</p>	主催

53	(特非)児童虐待防止 全国ネットワーク	5月8日		シンポジウム	テーマ:児童虐待防止に向けた『児童福祉法等の改正』を活かすために ～現場からの発信～ 会場:東京駅日本橋カンファレンスセンター	主催
54		1月22日		シンポジウム	テーマ:精神に障がいを抱える保護者のもとで育つ子どもたちへの支援について～現状と課題(仮) 会場:星陵会館(千代田区)	主催
55		2月(未定)		報告会	学生によるオレンジリボン運動報告会を実施する。 会場:未定	主催
56		10月9日		シンポジウム	テーマ「防ごう子ども虐待 地域で支えよう親と子」 会場:広島県呉市新広市民センター 主催:広島文化学園大学看護学科ボランティアサークル	共催
57		10月15、16日		びわ湖1周オレンジリボンたすきリレー	第7回びわ湖一周オレンジリボンたすきリレー～子どもの笑顔がいちばん～ 会場:滋賀県びわ湖岸道路 中継地点やゴール会場にてオレンジリボン運動の啓発 主催:CFRびわこ	共催
58		5月8日		講演会	テーマ「子どもを虐待する親」 会場:水戸市福祉ボランティア会館 主催:認定特定非営利活動法人 いばらき子どもの虐待防止ネットワーク あい	共催
59		①10月23日 ②11月20日	○	シンポジウム・啓発活動	①オレンジリボンキャンペーン サッカーチーム長野パルセイロの試合会場にてオレンジリボン運動の啓発 会場:南長野運動公園総合球技場 ②児童虐待防止研修会(講演) テーマ:傷ついた心は笑顔が癒す～虐待から生き抜くために～(仮題) 会場:未定 主催:ながの子どもを虐待から守る会	共催
60		11月3日から	○	啓発イベント	オレンジゴスペル全国ツアー2016 会場:全国各地9ヶ所 主催:オレンジゴスペル実行委員会	共催
61		10月30日		啓発イベント	高円寺「大文化祭」イベント内で子どもダンスコンテストを開催。オレンジリボン運動の啓発を行う。 会場:JR/東京メトロ高円寺駅南口 主催:高円寺フェス実行委員会	共催
62		①11月3日 ②11月19日	○	フォーラム	①「子育てきらきらフェスタ」オレンジリボン啓発活動。 会場:愛知県知多市青少年会館 ②「ちたオレンジリボンフォーラム」講演会、シンポジウム開催。 テーマ:「すべての子どもが幸せに生きるために今私たちにできること」 会場:知多市民体育館(愛知県) 主催:子どもの幸せを願うネットワーク こども幸せねっと	共催
63		8月6日		上映会	制作映画「こうたろうインスペースワンダーランド」を上映し、オレンジリボン運動の啓発を行う。 会場:ウィルあいち(名古屋市) 主催:KSW制作委員会	共催
64		10月16日		若者会議	第4回「未来を担う若者会議」～子どもへの虐待防止～ 会場:渋谷Siビル6Fフロア(渋谷区) 主催:特定非営利活動法人 全国福祉未来ネットワーク	共催
65		10月1日		啓発イベント	ゴスペル・ウイング・フェロウシップ・クワイヤー15周年コンサート 会場:伊勢崎市民文化会館 主催:Gospel Wing Feiowship Choir	共催

## 【2】啓発物品作成・配布

	団体名	実施(予定)期間・日	11月に実施する場合、○を選択	実施(予定)事項	具体的内容(テーマ・開催場所等)	備考
1	日本私立中学高等学校連合会	10月、11月	○		・定例会議の会議資料として、47都道府県私学協会、本連合会役員にリーフレットを配付。 ・全国の私立中学校、高等学校、中等教育学校に頒布している機関紙「私学時報」に子どもの虐待防止推進全国フォーラム、児童虐待防止月間について掲載。	
2	CAPNA	12月23日		イベント	ハーレークリスマスイラン:啓発イベント	

3	全国保育協議会(全国保育士会)	3月		「子どもと保護者の支援ガイドブック作成検討委員会」への参画	全国社会福祉協議会に設置する「子どもと保護者の支援ガイドブック作成検討委員会」に委員として参画し、子どもや保護者の小さな変化や違和感に気づくためのガイドブックを作成する	
4		3月		保育施設における人権擁護のための取り組み	保育所・認定こども園等における人権擁護について検討し、セルフチェックリストを作成する	
5	全国乳児福祉協議会	通年	○	乳児院倫理綱領の周知	・平成20年5月組織決定以降、広報媒体や組織作成資料、研修会等で周知 ・平成26年5月、より現状に即した内容に改定し各施設での活用を図っている。	
6		通年	○	より適切なかわりをするためのチェックポイントの周知	・平成21年2月以降、広報媒体や組織作成資料、研修会等で周知 ・平成26年5月、より現状に即した内容に改定し各施設での活用を図っている。	
7		通年	○	子どもと保護者の支援ガイドブック作成検討委員会への参画	保育所や認定こども園等において、日常の場面での「保育士の気づき」を子ども子育て家庭への支援につなげるための支援ガイドブックの検討	
8	全国地域活動連絡協議会	8月～11月	○	母親クラブ等に呼びかけて「心のつぶやき」を募集	安全な家庭環境を作ることが広い意味での虐待予防となります。 ”家族の間で感じた気持ち”を募集し、沢崎俊之埼玉大学教授に分析してもらい、虐待予防に向けた母親クラブ研修会等で活用するための資料を作成する。	
9	(特非)チャイルドライン支援センター	10月22日、23日		ポスター掲示、チラシ配布	福島市で行うチャイルドライン全国フォーラムにて、ポスター掲示、リーフレット配布を行う	
10	(一社)日本子ども虐待防止学会	3回/年		学術雑誌「子どもの虐待とネグレクト」発行	18巻1号(5月発行) 特集「虐待による乳幼児頭部外傷」 18巻2号(8月発行) 特集「にいがた大会」 18巻3号(12月発行予定) 特集「人生史と虐待(AHT)」	
11		2回/年		ニューズレター発行	40号発行 にいがた大会特集 41号発行 10月発行予定	
12	全国社会福祉協議会	通年	○	『子どもと保護者の支援ガイドブック(仮称)』作成	児童虐待防止と早期発見のために保育士等が日々の実践で活用できるガイドブックの作成・配布、そのための事例研究。(平成27年度より)	
13	全国母子生活支援施設協議会	通年	○	『子どもと保護者の支援ガイドブック(仮称)』作成	児童虐待防止と早期発見のために保育士等が日々の実践で活用できるガイドブックの作成・配布、そのための事例研究。(平成27年度より)	
16	(特非)児童虐待防止全国ネットワーク	10月2日		子育てフェスティバル	「かがわ子育て支援フェスティバル2016」 子どもたちとクラフト(オレンジリボンランタン)を作成やグッズ配布による啓発。 会場:さぬきこどもの国 主催:特定非営利活動法人 子どもの虐待防止ネットワーク・かがわ	共催
17		募集:1～3月 選定:4月 ポスター等作成:9月 表彰:6月19日		オレンジリボンポスターコンテスト及びポスターの作成	全国からオレンジリボン運動のポスターを募集し、優秀な作品を選定の上、ポスターを作成して、啓発活動に活用	主催

### 【3】広報誌、テレビ等で周知

	団体名	実施(予定)期間・日	11月に実施する場合、○を選択	実施(予定)事項	具体的内容(テーマ・開催場所等)	備考
1	全国連合小学校長会	11月			会員向けに広報(小学校時報11月号に掲載)	
2	日本私立小学校連合会	通年	○	「2010年代の教育宣言」	本連合会は1970年代以降ほぼ10年おきに「教育宣言」を作成し、その歩むべき方向を公にしてきた。「2010年代の教育宣言」においては、個人の自由と人権および児童一人一人の個性を尊び、その内なる可能性を児童愛をもって引き出し、心豊かな人間性を育成しようとしている。この「教育宣言」を会報に年6回掲載し、加盟校188校の教職員等に配布している。	
3	(公社)全国私立保育園連盟	11月	○		全国私立保育園連盟機関誌(児童虐待防止啓発チラシ)封入	

4	全国保育協議会	通年	○	全国保育協議会将来ビジョン(平成18年10月策定、平成27年3月改訂)に基づき、子どもの育ちを保障するための取り組み	広報誌、研修会資料への掲載により全国保育協議会将来ビジョンの周知を図り、子どもの育ちや権利を保障する観点から、保育現場における被虐待児童への保育実践や保育研究の推進を行う	
5		11月	○	「児童虐待防止推進月間」の広報	広報誌による情報提供	
6		6月、8月、9月、11月、2月	○	オレンジリボン運動への協力	研修会や大会等における研修会冊子へのオレンジリボンの掲載	
7	全国人権擁護委員連合会	通年	○	電話相談、子ども人権110番	毎週月曜日から金曜日の9:00～17:00 フリーダイヤル0120-007-110にて委員が相談に応じている。(電話は各法務局に設置されている)	毎年6月の1週間強化週間があり、平日8:30～19:00 土日10:00～17:00開設し相談を受けている
8		通年	○	子どもの人権SOSミニレター 10月、11月に配布	全国の小中学生に相談用の便箋、封筒用紙を配布し、児童、生徒の悩み事を書いた手紙を郵送(無料)してもらい、人権擁護委員が返信をして相談に応じている。	
9	全国民生委員児童委員連合会	平成28年6月、7月、9月		機関紙を通じた活動紹介・広報啓発	機関紙「民生委員・児童委員のひろば」(月刊、245,000部発行)、「View」(年4回、45,000部発行)において関連記事を掲載し、委員活動の参考となる関連情報を提供している。 「ひろば」7月号において、児童福祉法及び児童虐待防止法の改正内容を紹介した。 単位民児協会長向けの情報誌「View」6月号において、児童福祉法改正および地域での虐待対応と児童委員活動について紹介した。「View」9月号において、児童相談所での虐待相談対応件数について説明した。	
10	全国乳児福祉協議会	～11月	○	子どもの虐待防止推進全国フォーラム	広報、周知	
11		～11月	○	子ども虐待防止オレンジリボン運動	広報、周知、後援、参加協力	
12		～11月	○	児童虐待防止推進月間の周知	広報、周知	
13	全国情緒障害児短期治療施設協議会		○	ホームページ	189の啓発、および全国の児童相談所の一覧を掲載	
14	(特非)チャイルドライン支援センター	11月1日ごろ	○	ウェブサイト周知	当団体ウェブサイト、facebookを通じて周知を行う	
15	(福)子どもの虐待防止センター	10月25日～	○	児童虐待防止推進月間のポスター掲示、情報等の紹介	ホームページ、会報「CAPニュース」、ポスター掲示等にて児童虐待防止推進月間の周知に協力しています。	
16	全国社会福祉協議会	～11月	○	児童虐待防止推進月間	広報・周知。	
17		～11月		子どもの虐待防止 オレンジリボン運動	広報・周知、参加・協力。	
18		11月号	○	『ノーマ社協情報』	広報誌周知。社会福祉協議会向け。	
19		11月号	○	地域福祉・ボランティア情報ネットワークメールニュース	記事掲載。メールニュース。社会福祉協議会向け。	
20		11月号	○	『ボランティア情報』	広報誌周知。社会福祉協議会ボランティアセンター、ボランティアコーディネーター向け。	
21	全国児童養護施設協議会	～11月	○	子どもの虐待防止推進全国フォーラム	広報、周知	
22		～11月	○	子ども虐待防止オレンジリボン運動	広報、周知、後援、参加協力	
23		～11月	○	児童虐待防止推進月間の周知	広報、周知	
24	全国母子生活支援施設協議会	～11月	○	児童虐待防止推進月間	広報・周知。	

25	全国母子生活支援施設協議会	～11月	○	子どもの虐待防止 オレンジリボン運動	広報・周知、参加・協力。	
26		10月～	○	児童虐待防止推進月間の周知	会員（児童自立支援施設）へのポスターやリーフレットの配布による周知協力を行う	
27	全国児童自立支援施設協議会	10月～	○	子ども・子育て全国フォーラムの周知・後援	全社協主催の子ども・子育て全国フォーラムへの後援を行い、リーフレットを会員（児童自立支援施設）に送付するとともに、フォーラムへの参加勧奨を行う	

#### 【4】行政、民間企業及び他団体とのタイアップ

	団体名	実施(予定)期間・日	11月に実施する場合、○を選択	実施(予定)事項	具体的内容(テーマ・開催場所等)	備考
1	CAPNA	通年	○	電話相談	電話相談	
2	(特非)子育てひろば全国連絡協議会	通年	○	広報活動	虐待防止関連活動事業への後援と全国の実践者への広報	
3		6月11日		支援者向け研修	児童虐待防止協会 総会フォーラムへの登壇	
4	全国人権擁護委員連合会	通年	○	メール相談	窓口SOS-Eメール	
5	全国社会福祉協議会	11月13日	○	(オレンジリボン運動の一環) 子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会	広報・周知、後援、参加・協力。東京都港区虎ノ門開催。集会と鎮魂の行進。	
6		12月1日～12月31日		地域歳末たすけあい運動	中央共同募金会と全国民生委員児童委員連合会とともに、提唱。共同募金運動の一環。児童虐待ほか今日的な生活課題を、支援活動・理解促進・体制整備課題のひとつとして提示。	
7	全国母子生活支援施設協議会	11月13日	○	(オレンジリボン運動の一環) 子どもの虐待死を悼み命を讃える市民集会	広報・周知、後援、参加・協力。東京都港区虎ノ門開催。集会と鎮魂の行進。	
8	子どもの虹情報研修センター	10月30日		児童虐待防止オレンジリボンたすきリレーの実施	湘南コース・都心コース・鎌倉/三浦/横須賀コースの3コースでランナーがオレンジ色の襷をつなぎ横浜の山下公園まで駅伝形式で走破する。子どもたちの明るい未来と児童虐待防止の願いを込め、児童虐待防止の象徴であるオレンジリボンに見立てた「オレンジ色の襷」を仕立て、その心をつなぎます。	
9	(公社)日本看護協会	随時		健やか親子21推進協議会におけるテーマ毎の課題検討グループへの参画・協議	<ul style="list-style-type: none"> <li>■目的:「健やか親子21(第2次)」に関する主要課題に対する取り組みについて、効果的な調整・推進を図る</li> <li>■内容:健やか親子21推進協議会活動において、課題検討グループのテーマ「児童虐待防止・対応強化」や「育児支援等」に参画し、協力団体との協議において、協会として必要な取り組みには可能な限り積極的に取り組んでいる。</li> </ul>	
10	(特非)児童虐待防止全国ネットワーク	11月3日	○	オレンジリボンマスク等の街頭配布	豊島区と共催で、オレンジリボンマスク(15,000枚)を街頭配布し、児童虐待防止を呼びかける。 実施場所:豊島区池袋周辺	主催

#### 【5】その他

	団体名	実施(予定)期間・日	11月に実施する場合、○を選択	実施(予定)事項	具体的内容(テーマ・開催場所等)	備考
1	全国連合小学校長会	7月～8月		アンケート調査と結果の分析	児童の問題行動等の一環として児童虐待の未然防止、早期発見、早期対応につなげていくことを目的として、児童虐待に関する現状と課題について、毎年全国の状況を調査・分析している。全国の小学校各都道府県10校(470校)を対象に、調査し、研究紀要にまとめ、全会員に配布している。	
2	日本私立小学校連合会	随時		教員研修	各地区研修会等	
3	日本子どもの虐待防止民間ネットワーク	通年	○	メール相談	インターネットメール相談による虐待防止子育て相談	



4	全国民生委員児童委員連合会	平成28年5月		「児童虐待防止推進月間」標語募集の通知	各都道府県・指定都市市民児協に応募・参加の協力を呼びかけた。
5	全国民生委員児童委員連合会	平成25年11月～平成29年11月		新たな「全国児童委員活動強化推進方策・行動宣言」の普及促進	全国児童委員活動強化推進方策「広げよう地域に根ざした思いやり」行動宣言 児童委員・主任児童委員版の普及促進を図っている。そのなかの重点目標として、児童虐待の予防と早期発見・対応を掲げ、全国的な取り組みの一層の推進を図ることとしている。
6	(特非)チャイルドライン支援センター	通年	○	電話相談	18歳までの子どもからの電話をフリーダイヤルで受ける。傾聴を基本姿勢とするが、虐待等の内容にあたっては、児童相談所の紹介等を行うとともに、子ども自身が周囲にSOSを出すことができるようサポートする。
7		11月23日～30日	○	ネット相談	18歳までの子どもからの電話をインターネットのチャットで受ける。傾聴を基本姿勢とするが、虐待等の内容にあたっては、児童相談所の紹介等を行うとともに、子ども自身が周囲にSOSを出すことができるようサポートする。
8	(一社)日本子ども虐待防止学会	9月30日まで		研究事業	社会的養護の形態の違いによる子どもへの支援の効果に関する研究事業
9		1回/年(募集期限10月31日)		施設や里親家庭で暮らしている若者への入学支援金交付事業	社会的養護のもとで育った子どもたちの進学を応援するため、入学支援金の交付事業を毎年行っている
10	(福)子どもの虐待防止センター	通年	○	・電話相談 ・母親グループMCG ・アタッチメントプログラム ・育児スキルトレーニング ・里親養親支援	1991年の団体設立時より、家庭内での虐待防止を目的に、電話相談(03-5300-2990)、虐待に悩む母親のグループ「MCG」、セミナー等研修事業などを実施しているほか、里親・養親支援事業、育児スキルトレーニング(ペアレンティング事業)、アタッチメント形成のための心理療法プログラム、心理相談、法律相談、性虐待対応事業などの活動を行っています。
11		11月1日～30日	○	電話相談受付時間の延長	「子育て・虐待防止ホットライン」の実施 通常は育児不安、育児の困難、虐待についての電話相談を、月～金曜の10:00～17:00、土曜～15:00に、受け付けていますが、11月の児童虐待防止推進月間中は、土曜日の受付時間を延長し、月～土曜のいつでも10:00～17:00に相談を受け付けます。
12	子どもの虹情報研修センター	10～11月	○	児童虐待防止推進月間ポスターをホームページに掲載	児童虐待防止の標語及び児童虐待防止推進月間ポスターをホームページに掲載し、児童虐待問題に対する深い関心と理解を求める